中心市街地活性化基本計画
平成 30 年度定期フォローアップ報告

令和元年 10 月

内閣府地方創生推進事務局

目　次

● Ⅰ．中心市街地活性化基本計画 平成 30 年度定期フォローアップの概要 … 1ページ

● Ⅱ．目標指標分野別分析結果の概要 …………………………………………… 2ページ

(1) 集計結果

(2) 取組の進捗状況

(3) 目標達成見通しの状況

(4) 基準値からの改善状況

● Ⅲ．具体的な取組の状況（事例紹介） ………………………………………… 7ページ

● Ⅳ．取組の進捗状況及び目標達成見通しに関する各自治体からの報告 …… 12 ページ

Ⅰ. 中心市街地活性化基本計画　平成 30 年度定期フォローアップの概要

定期フォローアップについて

○ 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。

○ 各目標指標は、計画期間中、原則毎年取組の進捗状況及び目標達成の見通し等を自己評価（定期フォローアップ）することとしている。

○ 定期フォローアップによって明らかとなった取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等を参考に、必要と認められる場合には、各自治体は、中心市街地活性化協議会と連携して、速やかに基本計画の見直しを行う。

平成 30 年度定期フォローアップ対象計画

76 市町　76 計画　264 指標※　（詳細はＰ. 12-16 に掲載）

※平成 30 年度定期フォローアップ対象計画では全部で 266 の指標が設定されているが、そのうち 2 指標については、平成 31 年 3 月末時点のデータのとりまとめが完了していない等の理由のため、翌年度以降に定期フォローアップを実施する予定である。

【参考：平成 29 年度】74 市町　74 計画　256 指標

取組の進捗状況と目標達成の見通しに関する集計結果

○ 定期フォローアップ対象の全 264 指標のうち、目標達成可能と見込まれる指標は、207 指標（①＋③）（79%）である。

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

	目標達成可能と見込まれる	目標達成可能と見込まれない
取組進捗順調	① **１６０指標（６１%）** 〔平成２９年度：１７１指標（６７%)〕	② **３７指標（１４%）** 〔平成２９年度：３０指標（１２%)〕
取組進捗順調でない	③ **４７指標（１８%）** 〔平成２９年度：３６指標（１４%)〕	④ **２０指標（８%）** 〔平成２９年度：１９指標（７%)〕

Ⅱ. 目標指標分野別分析結果の概要

各自治体が定期フォローアップを行った目標指標を５分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等について分析した。

（１）集計結果

目標指標分野別集計結果

○各自治体が定期フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗状況及び目標達成の見通し等について、以下のＡ～Ｅの５つに分類した上で集計を行った。

見通し	全体（見通しの割合）	A にぎわいの創出	B 街なか居住の推進	C 経済活力の向上	D 公共交通の利便の増進	E その他
①	160 (61%)	86	23	44	6	1
②	37 (14%)	17	13	7	0	0
③	47 (18%)	24	8	13	1	1
④	20 (8%)	12	5	1	0	2
合計	264	139	49	65	7	4

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
※（　）書きは、全体に占める割合である。

＜目標指標分野の分類基準と主な取組例＞

見通し	全体	主な取組事例
Aにぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、観光客数、公共公益施設利用者数等	複合施設の整備・DMO設置による官民連携事業、市民・文化施設整備、駐車場整備、回遊促進事業、イベント開催　等
B街なか居住の推進	居住人口の社会増加数、市全体に占める中心市街地の居住人口の割合、居住人口　等	居住環境整備（土地区画整理、集合住宅整備等）、定住・移住支援、家賃助成、子育て支援・高齢者福祉施設整備　等
C経済活力の向上	新規出店数、空き店舗数、小売販売額、サービス売上高、事業所数、従業者数　等	リノベーション事業、テナントミックス事業、創業支援事業、新規出店・起業支援（家賃助成、改修費助成）、商店街イベント、集客拠点整備　等
D公共交通の利便の増進	バス乗客者数、駅乗降客数　等	路線接続事業、循環バス運行、パークアンドライド推進　等
Eその他	上記A～D以外の目標指標として、平成３０年度は、「市民意識調査における事業の満足率」、「中心市街地の健康な高齢者の割合」が定期フォローアップの対象となっている。	

（2）取組の進捗状況

○ 取組（事業等）の進捗が順調である（注 1）目標指標は全体の 75%である。
（平成 29 年度 79%）

○「経済活力の向上」、「公共交通の利便の増進」に関係する目標指標は、取組の進捗が順調である指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い（注 2）。

○ 一方で、「街なか居住の推進」等に関係する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い（注 2）。

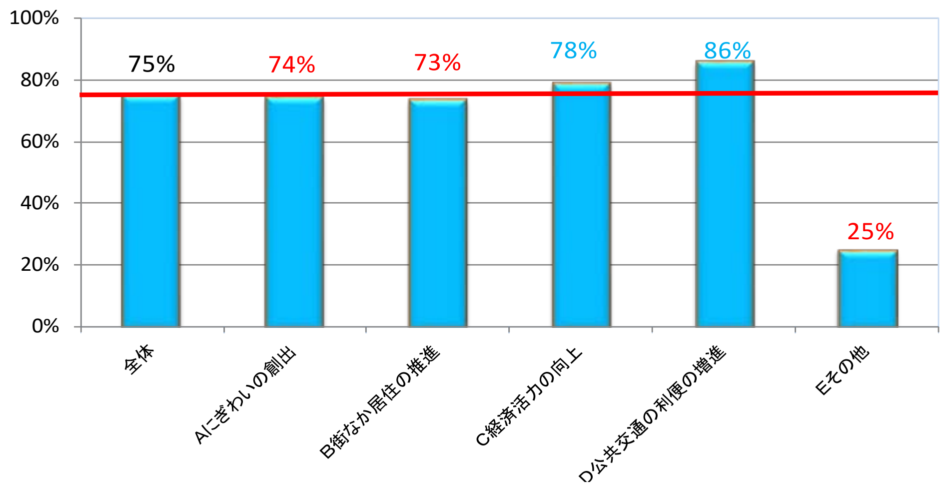
取組の進捗状況に関する分析結果

＜各目標指標分野の①及び②の割合＞

見通し	全体	Ａにぎわいの創出	Ｂ街なか居住の推進	Ｃ経済活力の向上	Ｄ公共交通の利便の増進	Ｅその他
①＋②	197	103	36	51	6	1
③＋④	67	36	13	14	1	3
合計	264	139	49	65	7	4
取組順調率	75%	74%	73%	78%	86%	25%

取組順調率＝（①＋②）／（①＋②＋③＋④）

＜目標指標分野別取組順調率の比較＞



（注１）取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類（Ｐ１参照）のうち、取組（事業等）の進捗が順調であるものとは、①と②が該当する。
（注２）全目標指標のうち取組順調率が 75%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

（3）目標達成見通しの状況

○目標達成可能と見込んでいる（注１）目標指標は全体の 78%である。（平成 29 年度 81%）
○「にぎわいの創出」、「経済活力の向上」、「公共交通の利便の増進」に関係する目標指標は、目標達成可能と見込んでいる指標の割合（目標達成見込率）が全体平均よりも高い（注２）。
○ 一方で、「街なか居住の推進」等に関係する目標指標の目標達成見込率は、全体平均よりも低い（注２）。

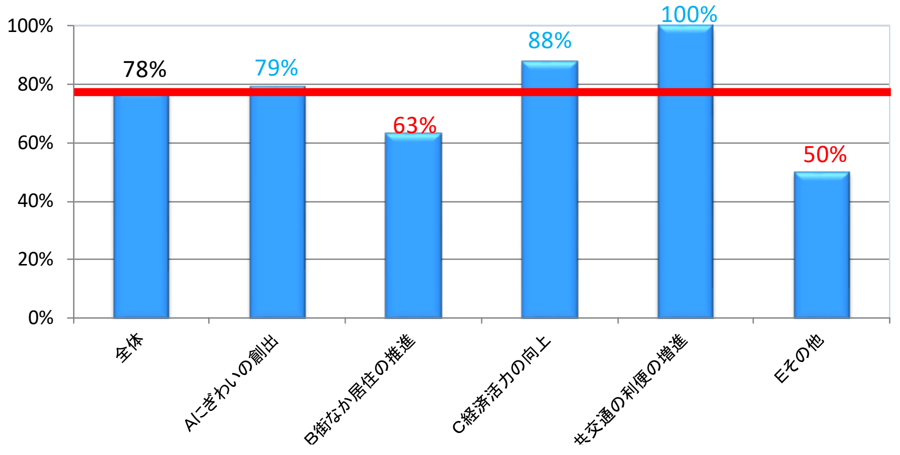
目標達成見通しの状況に関する分析結果

＜各目標指標分野の①及び③の割合＞

見通し	全体	Aにぎわいの創出	B街なか居住の推進	C経済活力の向上	D公共交通の利便の増進	Eその他
①+③	207	110	31	57	7	2
②+④	57	29	18	8	0	2
合計	264	139	49	65	7	4
目達見込率	78%	79%	63%	88%	100%	50%

目標達成見込率＝（①+③）／（①+②+③+④）

＜目標指標分野別目標達成見込率の比較＞



（注１）取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類（Ｐ１参照）のうち、目標達成と見込んでいるものとは、①と③が該当する。
（注２）全目標指標のうち目標達成見込率が 79%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「目標達成見込率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

目標達成見通しを変更した主な理由

目標達成見通しについて、今回（平成 30 年度）のフォローアップにおいて、前回（平成 29 年度）から変更された目標指標は 30 指標あり、主な理由は以下のとおり。

（１）目標達成見通しが改善したケース（分類②④から①③へ変更したもの）

〇平成 30 年度定期フォローアップ対象指標のうち、目標達成見通しが改善した指標は７指標。

〇目標指標分類別では、「にぎわいの創出」が３指標、「街なか居住の推進」が１指標、「経済活力の向上」が３指標。

〇目標達成見通しが改善した主な理由は以下のとおり。

① 事業が順調に進捗し、その効果が現れてきているなど、目標指標が改善していること

② 事業に一定の進捗が見られ、今後その効果の発現が見込めること

③ 官民連携の強化により多角的な活性化施策が生まれ、その効果の発現が見込めること

（２）目標達成見通しが悪化したケース（分類①③から②④へ変更したもの）

〇平成 30 年度定期フォローアップ対象指標のうち、目標達成見通しが悪化した指標は 23 指標。

〇目標指標分類別では、「にぎわいの創出」が 11 指標、「街なか居住の推進」が９指標、「経済活力の向上」が３指標。

〇目標達成見通しが悪化した主な理由は以下のとおり。

① 事業の遅延または未着手により、計画期間内の効果の発現が困難と見込まれること
・具体的には、主要事業に位置付けているハード事業について、用地交渉の難航、事業内容の調整等により遅延または未着手となっていることなどが挙げられている。今後の対策としては、代替するハード事業の追加やハード事業の効果を補完するソフト事業の追加などを官民一体で検討することとしている。

② 事業は概ね予定通りに進捗しているものの、当初想定していた効果の発現が困難と見込まれたり、外的な要因により効果が相殺される見込みとなっていること
・具体的には、「にぎわいの創出」の分野では、交流拠点施設の整備をしたものの、整備した施設から来街者を中心市街地内の回遊につなげるための事業を実施できなかったことなどの理由により、効果が限定的となっていることが挙げられている。今後の対策としては、官民の連携した情報発信の強化やイベント等の新たな事業の追加などをしていくこととしている。
・「街なか居住の推進」の分野では、居住促進事業の効果発現により居住人口の増加を見込んでいたものの、想定を上回る人口の自然減、社会減の影響により、取組の効果が限定的となっていることなどが挙げられている。今後の対策としては、空き家修繕等助成事業の実施や民間事業者による住宅開発等を呼び込むことにより、居住環境の向上を図ることとしている。
・「経済活力の向上」の分野では、空き店舗対策により一定の効果はあるものの、高齢化、経営維持の困難による廃業や新たな空き店舗調査により、貸し出しすることに消極的になっている店舗があることが判明したことなどが挙げられている。今後の対策としては、事業継続支援制度の検討や空き店舗情報の効果的な発信、マッチングなどを関係機関の連携のもと実施していくこととしている。

（4）基準値からの改善状況（実績値）

○ 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している目標指標は全体の 61％である。（平成 29 年度 56％）
○ 既に目標値を達成している目標指標は全体の 21％である。（平成 29 年度 21％）
○「にぎわいの創出」、「経済活力の向上」、「公共交通の利便の増進」に関係する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い（注 1）。
○ 一方で、「街なか居住の推進」等に関係する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い（注 1）。

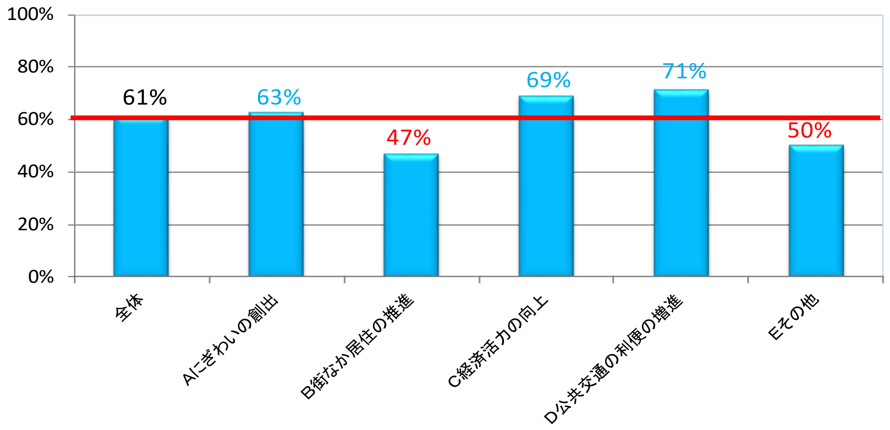
基準値からの改善状況に関する分析結果

＜各目標指標分野の改善状況及び目標達成状況＞

実績値	全体	Ａにぎわいの創出	Ｂ街なか居住の推進	Ｃ経済活力の向上	Ｄ公共交通の利便の増進	Ｅその他
基準値より改善	161	87	23	44	5	2
（うち、目標達成）	55	30	6	16	2	1
基準値より悪化	102	52	26	20	2	2
合計	263	139	49	64	7	4
基準値改善率	61%	63%	47%	69%	71%	50%
目標達成率	21%	22%	12%	25%	29%	25%

基準値改善率＝基準値より改善／全目標指標
目標達成率＝基準値より改善のうち目標達成／全目標指標

＜目標指標分野別基準値改善率の比較＞



（注１）全目標指標のうち、基準値改善率が 61％であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

Ⅲ. 具体的な取組の状況（事例紹介）

＜歩行者通行量の増加に繋がっている事例＞

高崎市（群馬県）【平成26年3月28日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成26年４月　～　令和２年３月</td><td colspan="2">人口（平成27年国勢調査）</td><td colspan="2">370,884人</td></tr>
<tr><td>関連する目標指標</td><td>歩行者・自転車通行量（休日）</td><td>基準値</td><td>101,411人/日
（Ｈ24）</td><td>目標値</td><td>108,500人/日
（R1）</td><td>実績値</td><td>159,734人/日
（H30）</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">○平成29年10月に高崎駅西口と直結する「高崎オーパ」が開業し、多くの来場者で賑わいが創出されている。賑わいと回遊性の向上を目的に中心市街地活性化ソフト事業を活用して、継続実施している「高崎まちなかオープンカフェ推進事業」や「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」、個店の魅力や集客力を高める「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業」により約100件の魅力ある店舗づくりが進んだ効果と相まって、まちなかの回遊性の向上が図られ、歩行者・自転車通行量は大幅に増加した。
○また、「高崎まつり」や「高崎えびす講市」などの伝統的なイベントに加え、「高崎だるま市」や「高崎ハロウィン」など新規事業にも積極的に取り組むなど、年間を通じて様々なイベントを行うことにより、いつ訪れてもおもしろく、楽しめる空間づくりに努めている。
○今後は、新たに、まちなかを乗り降り自由で無料で循環する交通手段「お店ぐるりんタクシー」の運行や中央銀座商店街のアーケードを活用したイベント等を計画しており、官民一体となった取組を進める予定としている。

＜高崎駅西口高崎オーパ周辺＞

＜高崎市まちなか商店リニューアル助成活用事例＞</td></tr>
</table>

大垣市（岐阜県）【平成27年11月27日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成27年12月　～　令和３年３月</td><td colspan="2">人口（平成27年国勢調査）</td><td colspan="2">159,879人</td></tr>
<tr><td>関連する目標指標</td><td>中心市街地の休日歩行者・自転車通行量</td><td>基準値</td><td>12,189人/日
（Ｈ26）</td><td>目標値</td><td>12,688人/日
（Ｒ2）</td><td>実績値</td><td>15,510人/日
（Ｈ30）</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">○平成28年9月に「大垣駅南街区第一種市街地再開発事業」、平成30年3月に「大垣駅南街区広場整備事業」が完了し、新たな街の顔が整備されたことで、中心市街地のにぎわい創出の一助となっており、また、令和2年の竣工に向け新庁舎建設が順調に進捗している。こうした中、平成30年度に市制100周年を迎え、100の記念事業を展開する中、中心市街地においても祝祭感あふれるソフト事業を多く開催し、交流人口の増加やにぎわい創出など、中心市街地の更なる活性化を図った。
○「大垣駅南街区第一種再開発事業」と民間事業者によるマンション建設（東外側町地内）が完了したことにより、歩行者通行量は増加している。また、平成30年3月に「大垣駅南街区広場整備事業」において整備された「水都の泉」を活用し、商店街が中心となり、BGMを流しながら飲食物や雑貨の提供を行うイベントを開催するなど、にぎわい創出の取り組みを行っている。今後も整備された空間を活用し、「まちゼミ」や中心市街地活性化ソフト事業を活用して「中心市街地商店街元気ハツラツ市事業」を継続して実施することで、商店街の魅力を来街者に発信していく予定である。

＜水都の泉＞

＜中心市街地商店街元気ハツラツ市事業＞</td></tr>
</table>

＜観光客数･施設利用者数の増加に繋がっている事例＞

松山市（愛媛県）【平成 26 年 10 月 17 日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成 26 年 11 月　～　令和２年３月</td><td colspan="2">人口（平成 27 年国勢調査）</td><td colspan="2">514,865 人</td></tr>
<tr><td>関連する目標指標</td><td>中心市街地内の観光客数（５施設）</td><td>基準値</td><td>1,710,000 人
(H25)</td><td>目標値</td><td>1,810,000 人
(R1)</td><td>実績値</td><td>1,946,000 人
(H30)</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">○平成 30 年の観光客数（市有 5 施設）は 1,946 千人と 5 年連続で前年を上回る結果となった。これは、道後温泉本館、椿の湯に加えて、平成 29 年 12 月の「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）」のオープンによるものである。平成 30 年 7 月の西日本豪雨の影響で、7 月～8 月は利用者が減少したが、10 月以降は概ね回復した。
○観光のシンボルである道後温泉本館では、文化財的価値を保存し、次代に松山の宝を受け継ぐため、平成 31 年 1 月から約 7 年間の保存修理工事を開始。全国初の取組みである重要文化財の公衆浴場を営業しながら保存修理工事を行うことで、工事中も入浴が可能となるとともに、道後温泉街を一望できる冠山の「空の散歩道」に眺望施設や足湯など休憩室を設けたほか、独自に手塚治虫のライフワークといえる「火の鳥」とコラボレーションした「道後 REBORN プロジェクト」を展開しており、保存修理工事を行いつつも、当該施設を観光資源として最大限活用している。

＜道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の外観＞

＜道後 REBORN プロジェクト：道後温泉本館ﾌﾟﾛｼﾞｪｸｼｮﾝﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ＞</td></tr>
</table>

沖縄市（沖縄県）【平成 28 年3月 15 日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成 28 年４月　～　令和３年３月</td><td colspan="2">人口（平成 27 年国勢調査）</td><td colspan="2">139,279 人</td></tr>
<tr><td>関連する目標指標</td><td>都市福利施設の年間利用者数</td><td>基準値</td><td>829,808
(H26)</td><td>目標値</td><td>867,308
(R2)</td><td>実績値</td><td>1,067,852
(H30)</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">○旧市立図書館は、中心市街地の区域内に位置していたものの、老朽化はもとより、施設・駐車場の狭隘並びに本市人口に対する蔵書数の不足などの問題があり、利便性が高いものではなかったが、「図書館建設推進事業」により、複合商業施設「コリンザ」を改修し、市民ニーズが高く、利便性の向上が求められている図書館を移転・整備後、必要な資料の購入や図書システムの導入等を行った。
○移転後は旧市立図書館の約３倍の規模となり、蔵書数の増加及び自動貸出機や音声読書器の導入、館内のイスについても利用者がくつろげるように色や形などを工夫して配置したことや大規模な既設駐車場が共用可能となるなど、図書館機能の充実・強化が図られ、利用者数の増加につながるとともに、良好な生活空間の創出にも寄与している。平成 30 年の利用者数は、209,316 人となっており、年間の都市福利施設の増加に大きく寄与することとなった。
○併せて、ブックフェスティバルや図書館セミナー等各種イベントが関連施設で継続的に展開されていることから、引き続き蔵書数の増加など利便性の向上を図ることにより、利用者数の増加につなげていきたい。

＜沖縄市立図書館＞

＜沖縄市立図書館でのイベントの様子＞</td></tr>
</table>

＜居住人口の増加に繋がっている事例＞

姫路市（兵庫県）【平成 27 年3月 27 日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成 27 年４月　～　令和２年３月</td><td colspan="2">人口（平成 27 年国勢調査）</td><td colspan="2">535,646 人</td></tr>
<tr><td>関連する目標指標</td><td>居住者数</td><td>基準値</td><td>8,797 人
（H25）</td><td>目標値</td><td>8,894 人
（R1）</td><td>実績値</td><td>10,520 人
（H30）</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">〇コンパクトシティを推進する市の方針に基づき、宿泊施設、商業施設、医療系専門学校等の一体的な都市基盤整備を実施し、中心市街地に高次都市機能を集積させ、居住者の利便性の高い市街地の形成に向けた取り組みを進めている。
〇「姫路駅周辺整備事業」、「キャスティ 21 コアゾーン整備事業」などの事業の進捗により、街なかの魅力が向上したことと併せて、市が取得した JR 姫路駅周辺の広大な土地を活用し、民間投資がしやすい環境整備をすることで、マンションの建設が進むなど、居住者数の大幅な増加につながり、目標値を達成している。特に大手前通りの整備にあたっては、道路空間再編により歩道を拡幅することで歩行者に優しい空間が創出され、さらには、歩道空間を活用する取組みも始まっている。
〇今後キャスティ 21 イベントゾーンに、新たに交流拠点、文化芸術の拠点として姫路市文化コンベンションセンターや県立はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備により、さらに中心市街地の魅力を向上させ、新たな居住者を街なかに呼び込めるものと考えている。

＜整備が進む姫路市の中心市街地＞

＜新たに整備された駅前公園＞</td></tr>
</table>

＜新規出店数の増加に繋がっている事例＞

岩国市（山口県）【平成 26 年 10 月 17 日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成 26 年 11 月　～　令和２年３月</td><td colspan="2">人口（平成 27 年国勢調査）</td><td colspan="2">136,757 人</td></tr>
<tr><td>関連する目標指標</td><td>卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数</td><td>基準値</td><td>687
（H24）</td><td>目標値</td><td>695
（R1）</td><td>実績値</td><td>718
（H30）</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">〇中心市街地活性化ソフト事業を活用した「空き店舗活用奨励事業」は、エリア内の空き店舗の新規出店者に家賃補助をすることで、経営基盤の安定化や店舗の魅力向上が図られると同時に、新たな出店の促進につながるものである。平成 27 年度の事業開始以降、制度の活用により 68 店舗が開業し、現在は 56 店舗がにぎわいの創出に貢献している。また、店舗経営を行う者、これから行おうとする者に対して、店舗改装等の費用を助成する「まちなか商店リニューアル助成事業」では、平成 27 年度の事業開始以降 73 件が助成を受け、そのうち 37 件が新規出店につながっている。
〇併せて、中心市街地活性化ソフト事業を活用した「隠れ家探訪事業」により、中心市街地内に隠れ家的に存在する個店や新たに開業した個店の情報を発信するとともに、起業を目指す者に対し創業支援講座を開催し、ノウハウの習得を支援する「起業家スター誕生支援事業」の実施により、延べ 20 名の講座受講生のうち、1 名が新規出店するなど、一定の成果につながっている。また、昨年度から創業支援だけでなく開業後のアフターフォローにも力を入れており、今後、開業者同士のコミュニティの場を充実させるなど目標達成に向けて取り組んでいく。

＜ネイルサロンリニューアル前＞

＜ネイルサロンリニューアル後＞</td></tr>
</table>

会津若松市（福島県）【平成 27 年 6 月 30 日認定】

計画期間	平成 27 年７月　～　令和２年３月	人口（平成 27 年国勢調査）	124,062 人

関連する目標指標	新規出店者数（5 年平均値）	基準値	8.8 店舗（H26）	目標値	13.6 店舗（R1）	実績値	15 店舗（H30）

取組概要

○中心市街地活性化ソフト事業を活用した「空き店舗対策事業」は、業種構成の見直しや不足業種などの再配置（テナントミックス）を行う商店街などにその賃料の一部（補助率上限：年 240 万円/１年目 2/3 以内）を助成する事業であり、この助成により、商店街等の空き店舗を解消し、商機能の充実や来街者の回遊性、集客力の向上につながり、平成 30 年度は新規出店者数 15 件のうち、4 件がこの制度を活用し出店している。

○また、市では、「産業競争力強化法」に基づき、地域の創業支援等事業者との連携のもと、「会津若松市創業支援等事業計画」に基づき実施している「創業支援事業」により、市が民間事業者と連携し、地域の開業率を引き上げ、魅力的な店舗の集積を図る取組を実施しており、平成 30 年度は新規出店者数 15 件のうち 5 件が制度を活用して出店している。併せて、金融機関による創業支援セミナーの開催や専門家による創業困り事相談などを行うなど、金融機関、NPO 法人、商工会議所、行政等の官民連携による創業サポートにも力を入れたことで、新規出店の増加につながっている。

○そのほか、地域資源である福西本店や芳賀家蔵をはじめとした歴史的建造物等の情報提供や新たなテナントの誘致を行う「歴史的建造物を活かしたまちなか賑わい拠点づくり事業」等により、新規出店数が大きく増加しており、今後予定されている商店街のコミュニティ拠点整備による出店者の増加も見込んでいる。

＜歴史的建造物を活かしたまちなか賑わい拠点づくり事業により整備。施設内には、土産店等３店舗がオープン＞

＜「空き店舗×創業応援」事業でオープンした会津地域の地酒を楽しめるお店＞

福島市（福島県）【平成 27 年 3 月 27 日認定】

計画期間	平成 27 年４月　～　令和２年３月	人口（平成 27 年国勢調査）	294,247 人

関連する目標指標	新規出店舗数	基準値	22 店舗（H26）	目標値	25 店舗（R1）	実績値	34 店舗（H30）

取組概要

○福島駅前通りのリニューアル完了や暮らし・にぎわい再生事業を活用した（一財）大原記念綜合病院の開院により、高度医療の充実や市街地再開発等が進み、都市機能が集積し、街なかの魅力が向上したことにより、目標達成に繋がった。令和 3 年 4 月には、福島県立医科大学保健科学部の開校を控えていることから、関係人口が増加することによる賑わいの期待感が高まり商業の活性化につながっている。

○「創業応援利子補給事業」により創業にかかる融資（限度額 2,000 万円）の利子全額を補助する取組を継続している。平成 30 年度までの 4 カ年で中心市街地の創業者に対する融資利子への補給件数は 50 件となり、新規出店舗数の目標値 25 店舗に対して 34 件と大きく上回るなど、新規出店につながる効果が大きいと考えられる。

○今後は、平成 30 年度に計画変更により新たに位置付けた「商業者等売上増加・販路拡大支援事業」（中心市街地活性化ソフト事業）を商店街にさらに周知するとともに福島県よろず支援拠点との連携を図りながら中心市街地の魅力的な店舗を増やす取組みを総合的に実施し、中心市街地に効果を波及させ、実績を伸ばしたい。

＜令和 3 年 4 月開校予定の福島県立医科大学保健科学部＞

＜事業者が相談することができる福島県よろず支援拠点＞

遠野市（岩手県）【平成 28 年3月 15 日認定】

計画期間	平成 28 年４月　～　令和３年３月			人口（平成 27 年国勢調査）	28,062 人		
関連する目標指標	中心市街地新規出店数	基準値	7 （H24～H26）	目標値	12 （H28～R2）	実績値	15 （H28～H30）
取組概要	○事業者の後継者不足や高齢化に伴い廃業となった空き店舗に新規に創業される方を対象に、家賃の一部を助成する空き店舗家賃助成事業については、平成 28 年度から平成 30 年度において 15 事業者の活用実績があった。 ○また、商工会が中心となって金融機関・行政が連携し、創業支援等事業計画に基づき事業計画・資金計画等の基礎知識や創業後の継続相談など創業者を応援する「創業塾」と、物件の紹介、空き店舗家賃助成・改修費助成等の活用について一体的にサポートしている。支援事業活用にあたり商工会・金融機関・行政がそれぞれ新規創業希望者を掘り起し情報共有しているほか、起業型地域おこし協力隊事業が新規出店につながっている。 ○今後は、利活用の可能性のある物件の掘り起しのため空き店舗調査を進めるほか、引き続き家賃または改修費の助成事業により新規出店及び営業継続を支援していく。						

＜創業塾＞

＜空き店舗を活用し地域おこし協力隊が創業＞

＜空き店舗の減少に繋がっている事例＞

甲府市（山梨県）【平成 26 年 10 月 17 日認定】

計画期間	平成 26 年 11 月　～　令和２年３月			人口（平成 27 年国勢調査）	193,125 人		
関連する目標指標	空き店舗数	基準値	231 （H25）	目標値	173 （R1）	実績値	159 （H30）
取組概要	○中心市街地活性化ソフト事業を活用した「空き店舗活用事業」は平成 25 年度から制度を開始し、店舗等の外壁の整備、商店街の連携強化などの取組を支援する「小グループ自主的取組支援事業」とともに、制度が認知されてきたことにより事業実績としては、平成 26 年度から平成 30 年度までの年間平均で約 10 件以上の活用があり、見込み以上に活用がされるなど空き店舗の解消に寄与している。 ○また、中心市街地活性化ソフト事業を活用した「まちなか不動産バンク事業」は、平成 26 年 10 月に事業を開始し、市のホームページを通じた遊休不動産の登録と情報発信を行うとともに、合同会社まちづくり甲府と連携した取組として、専用サイトである「まちなか不動産バンクサポートセンター」において事業用物件を対象とした空き物件の紹介を行っている。さらに登録先に関わらず、複数の空き店舗を同日に見学できる「空き物件見学会」の開催により、所有者と使用希望者のマッチングを行うとともに、専門家への相談対応も行うことで、登録件数 86 件、その内成約は 51 件の実績となっており、空き店舗の解消に寄与している。						

＜空き物件見学会の様子①＞

＜空き物件見学会の様子②＞

＜空き店舗の減少に繋がっている事例＞

蕨市(埼玉県)【平成27年3月27日認定】

<table>
<tr><td>計画期間</td><td colspan="3">平成27年４月　～　令和２年３月</td><td colspan="2">人口（平成27年国勢調査）</td><td colspan="2">72,260人</td></tr>
<tr><td>関連する
目標指標</td><td>空き店舗・低未利用地件数</td><td>基準値</td><td>128
(H26)</td><td>目標値</td><td>118
(H31)</td><td>実績値</td><td>117
(H30)</td></tr>
<tr><td>取組概要</td><td colspan="7">○平成30年度は、空き店舗有効活用事業による補助金制度を活用し２店舗が開業しており、そのうちの１店舗は蕨市コミュニティビジネス講座の受講生が開業したものである。座学と実践を経て、講座終了後も受講生に伴走型の支援を行うことで市内創業へとつながっており、空き店舗対策のモデル的な事例となった。より創業の可能性を高めるためには、実践でのプチ成功体験、実施後のフォローアップが重要と考える。
○講座での店舗運営体験（ハンドメイドショップの運営）では、受講生が成功体験を得られるように、ＰＲ支援を積極的に行った。これにより、講座終了後も創業に向けた機運が醸成され、受講生独自でイベントを開催するなど自信を深めることが可能となる。併せて、空き店舗有効活用事業の実施主体である、一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携して、開業に向けて市内の空き店舗を巡る「不動産見学ツアー」も新たに開始した。受講生の希望に沿った物件をピックアップし、一緒に見て回ることで、物件の良し悪しが比較でき、創業に向けたプランを具体化することが可能となる。なお、ツアーの開催により１件、創業希望者と希望物件とのマッチングによる市内創業へとつながっている。
○また、平成29年度から蕨商工会議所が実施主体となり、蕨市や一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会との連携のもと、埼玉県のＮＥＸＴ商店街空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組んでおり、平成30年度は、蕨市内への出店を考えている事業者がワンストップで様々な情報を取得できる「空き店舗マッチングサイトの構築」や、後継者がいない店舗に対し、創業希望者が一定期間修業した後に事業を引き継ぐなどのより実践的な事業承継のシステム化に向けて検討を重ねている。今後、空き店舗有効活用事業と連動させることで、積極的な事業推進を図っていく。

＜飲食店を借りて店舗運営体験＞

＜空き店舗を改装し市内で創業＞</td></tr>
</table>

Ⅳ. 取組の進捗状況及び目標達成見通しに関する各自治体からの報告

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
平成26年3月28日認定				
岩手県	久慈市	やませ土風館の集客力を高め、商店街への波及効果を促進する	やませ土風館・複合施設の利用者数	③
			やませ土風館の商品販売額	①
		駅前地区の再生により中心市街地全体の回遊を達成する	歩行者・自転車通行量	③
		社会増減人口の減少に歯止めをかけ、定住性を向上させる	中心市街地定住人口に係る社会増減数	④
群馬県	高崎市	市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量（休日）	①
		高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち	小売業年間商品販売額	②
		音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設の利用者数の合計値	④
滋賀県	長浜市	活発に人が行き交うまちの実現	歩行者・自転車通行量	③
		新たな交流を生み出すまちの実現	宿泊者数	①
		暮らしやすいまちの実現	市全体に占める中心市街地の居住人口の割合	④
山口県	山口市	まちに来る人を増やし、楽しんでもらう	商店街等通行量（休日）	③
		まちの新陳代謝を図り、活力を高める	中心商店街の空き店舗数	③
		まちの定住人口を増やす	居住人口の社会増減（5年間の総数）	①
長崎県	諫早市	賑わうまち	アエル中央商店街歩行者通行量（平日）	④
		ひとが集うまち	駅乗降客数（諫早駅、本諫早駅（島原鉄道）の合計）	③
		安心して生活できるまち	居住人口	③
平成26年10月17日認定				
山口県	岩国市	快適な交通環境の創出	JR岩国駅の乗降客数	①
		活力と魅力あふれる商環境の創出	卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数	①
			本通商店街・中通商店街・中央通り商店街の空き店舗率	②
		誰もが住み良い環境の創出	歩行者等通行量（平日）	②
			歩行者等通行量（休日）	②
			イベント・教室等開催件数	④
北海道	富良野市	市民の中心市街地活性化への意識向上による協働のまちづくり	賑わい感の向上	①
		中心市街地に共同住宅建設の推進	居住人口	②
		新規出店舗誘致により商業集積を高める	小売り店舗数	①
		滞留拠点施設整備とまちなか情報発信により回遊する人々を増やす	歩行者通行量	①
山形県	山形市	賑わい拠点の創出	歩行者・自転車通行量(休日)	④
		商業の魅力の向上	空き店舗率	①
		街なか観光交流人口の増加	街なか観光客の入込数	③
山梨県	甲府市	快適な歩行空間と人が集う魅力的な商店街の整備によるまちの活力の発揮	空き店舗数	①
		にぎわいの場を結ぶルートの整備とまちの魅力の創出	歩行者通行量	③
		アクセスしやすく、多世代が安心して暮らせる都市･生活基盤の創造	居住人口	③
愛媛県	松山市	訪れたくなる都心としての機能強化	中央商店街の歩行者通行量（休日）	②
		都市型観光地としての魅力向上	中心市街地内の観光客数（5施設）	①
		安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実	中心市街地内の居住人口	②
平成27年1月22日認定				
宮城県	石巻市	定住人口の増加	中心市街地における定住人口	②
		交流人口の増加	2施設の利用者数	①
			歩行者・自転車通行量	①
静岡県	浜松市	来たい都心～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～	歩行者通行量（休日）	①
			公共施設入場（来場）者数	①
		住みたい都心～快適な都心生活空間の創出～	中心市街地の居住人口	①
		参加したい都心～市民協働による浜松型都心経営モデル～	空き店舗区画数	④
平成27年3月27日認定				
埼玉県	蕨市	空間ストックの有効活用による新陳代謝の誘発	空き店舗・低未利用地	③
		来街目的の多様化による賑わい創出	休日の歩行者・自転車通行量	③
			蕨市立歴史民俗資料館の来館者数	④
		中心市街地への市民の支持向上	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」の満足率	④
			市民意識調査における「商店街の活性化」の満足率	④
岐阜県	高山市	住みやすいまち	中心商店街歩行者自転車通行量	①
		にぎわいのあるまち	中心商店街営業店舗数	②
		やさしさにあふれるまち	公共施設利用者数	②

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
大阪府	堺市	まちの活力の源となる来街者の増加	定期利用者を除く駅乗降客数	①
		まちなかの回遊性向上による賑わい創出	歩行者通行量	④
		商業の魅力向上による賑わいの創出	空き店舗等の率	①
島根県	江津市	人が集い交流する賑わい空間づくり	歩行者・自転車通行量	③
			新規店舗出店数	①
		住みたい、住み続けたい快適居住空間づくり	中心市街地の人口	④
長崎県	長崎市	まちなかのにぎわいの創出	1日当たりの歩行者通行量（平日）	①
			1日当たりの歩行者通行量（休日）	
		商業の活性化	小売業年間商品販売額	①
		交流人口の拡大	主要観光施設入場者数	①
北海道	岩見沢市	暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進	中心市街地居住者人口	②
		岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進	中心市街地歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）	②
			商業業務集積地区空き店舗数	①
		多世代がふれあうまちなか交流の促進	公共・公益施設利用者数	①
山形県	酒田市	中心商店街の活性化	歩行者・自転車通行量	④
			商店街空き店舗数	②
		街なか観光の推進	観光施設入込数	④
		街なか交流人口の増進	公共・公益施設利用者数	②
福島県	福島市	賑わいの創出	歩行者・自転車通行量	②
			新規出店舗数	①
		快適居住の促進	居住人口	②
			文化・交流施設利用者	④
埼玉県	川越市	回遊性の向上	歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）	①
			観光客の立ち寄り観光地点数	①
		商業・サービス業の活性化	空き店舗数	①
長野県	上田市	居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成を進める。	中心市街地の居住人口	②
		市民、事業者等が連携した活動により地域活力の向上を図る。	中心市街地の歩行者通行量	①
		地域経済の活性化	中心商店街の空き店舗数	①
静岡県	掛川市	まちなかの賑わい創出	歩行者通行量	①
		まちなか居住の促進	中心市街地の居住人口	②
		まちなか交流人口の増加	まちなか交流人口（掛川城周辺施設利用者数）	①
兵庫県	姫路市	新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加	歩行者・自転車通行量	②
		新陳代謝の促進による街なか（商店街）の活性化	空き店舗数	①
		多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上	居住者数	①
		市民が躍動できる仕組み・体制の構築	公共空間利活用のルールのもとで行われるイベント実施日数	①
兵庫県	川西市	多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造	歩行者・自転車通行量(休日）	②
			来街者の平均滞留時間	①
		暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造	人口の社会増減	①
岡山県	倉敷市	倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設入場者数	②
		歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成するまちづくり	歩行者・自転車通行量	①
			居住人口	①
		まちなかに人を誘導し、交流を促進する	市民交流施設利用者数	①
滋賀県	守山市	新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち	新規出店店舗数	①
		こどもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち	中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数	①
		地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量（平日）	③
平成27年6月30日認定				
福島県	会津若松市	商機能の向上	新規出店者数	①
		交流人口の拡大	歩行者通行量（平日と休日の加重平均）	②
		まちなかにおける市民による活動量の増加	活動拠点施設利用者数	②
鳥取県	倉吉市	誰もが持続的に住みたくなる暮らしやすい生活環境を備えたまち	中心市街地全体の人口の社会増減	④
		歴史的・文化的資源を活かした回遊型観光のまち	中心市街地における観光入込客数	④
		小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち	中心市街地における創業事業所数	③
大分県	竹田市	観光地としての魅力の向上	地区内年間観光客数	④
		まちなかの回遊性の向上	地区内歩行者通行量	①
		まちなか居住の推進	地区内居住人口	②
平成27年11月27日認定				
岐阜県	大垣市	観光・交流拠点の整備や商業機能の再生による「にぎわいの創出」	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量	①
		都市基盤の推進による「まちなか居住の推進」	中心市街地の居住人口	③
		中心市街地の商業再生による「空き店舗の減少」	商店街振興組合連合会内空き店舗数	①
広島県	三原市	賑わいの創出	歩行者・自転車通行量（平日）	①
			歩行者・自転車通行量（休日）	
			JR三原駅の1日当たりの乗降車人員数	①
		商業の活性化	小売業事業所数及び小売業年間商品販売額	①
			商店街の空き店舗数	②
		街なか居住の推進	居住人口	①

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
鳥取県	米子市	人が集いにぎわうまち	歩行者等通行量（自転車を含む）	③
			駐車場の利用台数（時間貸しのみ）	③
		歴史や文化、自然に触れ合えるまち	文化施設の利用者数	③
			下町観光ガイドの利用者数	①
		住みたくなるまち	人口の社会増減	②
平成28年3月15日認定				
愛知県	田原市	まちなかを歩く人を増やす	歩行者・自転車通行量	②
		まちなかに住む人を増やす	居住人口	②
		新規出店や活動場所を増やす	新規出店・開設施設数	①
三重県	伊勢市	中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上	商店街の歩行者通行量	①
		商店街の魅力創出による商業の活性化	空き店舗率	③
		都市機能の強化によるまちなか定住の促進	人口の社会増減	③
宮崎県	小林市	安定した雇用を創る	新規開業事業所の増加	③
		新しい人の流れを創る	休日歩行者・自転車通行量	③
		快適に暮らせるまちを創る	居住人口	③
青森県	弘前市	来街者を増やす	歩行者・自転車通行量（平日と休日の平均）	④
		空き店舗を減らす	中心商店街空き店舗率	③
		観光客を増やす	中心市街地観光施設等利用者数	③
		居住者を増やす	市全体に占める中心市街地の居住人口の割合	①
岩手県	遠野市	まちなかの観光振興（歴史・文化・風土・自然を生かしたまち）	中心市街地観光施設入込数	②
		まちなかの回遊性創出（にぎわいあふれるまち）	中心市街地通行量	②
		まちなかの新規店舗を推進（店舗が充実したまち）	中心市街地新規出店数	①
静岡県	静岡市	〝わくわくドキドキ〟にぎわいと活力のまち	【静岡地区】主要な通りの店舗・事業所数	①
		〝わくわくドキドキ〟にぎわいと活力のまち	【清水地区】観光客数	①
		〝わくわくドキドキ〟にぎわいと活力のまち／〝てくてくらくらく〟にぎわいと活力のまち	【静岡地区】歩行者通行量	①
		〝わくわくドキドキ〟にぎわいと活力のまち／〝てくてくらくらく〟にぎわいと活力のまち	【清水地区】滞在時間	①
京都府	福知山市	まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち	歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）	①
		「人・もの・情報」が集まり、誰もが快適に暮らせるまち	歴史文化・交流施設利用者数	①
		生活の質を高め、「しごと」の場がある活力あるまち	新規店舗開業数	①
兵庫県	丹波市	ストック活用による集客・交流機能の強化	歩行者・自転車通行量	③
		暮らしを支える文化・社会サービスの提供	文化・交流施設利用者数	①
		地域経済の新陳代謝を生む起業・創業支援	新規店舗開業数	①
兵庫県	伊丹市	「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町（まち）なか」	文化施設（8施設）利用者数	③
		「まちの魅力を高め、訪れたい郷町（まち）なか」	中心市街地空き店舗数	②
			2軸における歩行者・自転車通行量	①
		「もてなし心のある、すみたい郷町（まち）なか」	中心市街地における居住人口	①
兵庫県	明石市	『便利で暮らしやすいまち』にする	都市福利施設利用者数	①
		『一歩足を伸ばして楽しめるまち』にする	歩行者・自転車通行量	①
			新規出店者数	①
大分県	佐伯市	便利で過ごしやすく人が集うまち	歩行者通行量	①
		人々が活発に交流しふれあうまち	まちづくり交流人口	①
佐賀県	唐津市	賑わいあふれる魅力ある商業の創出	商店街空き店舗率	③
			来街者満足度	③
		訪れたくなる魅力ある観光の創出	中活エリア内の観光施設入り込み客数	①
沖縄県	沖縄市	まちなか交流の促進によるにぎわいの創造	歩行者通行量（休日）	②
			観光関連施設の入込客数	①
		中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福利施設の年間利用者数	①
			居住人口の増減率	②
山形県	長井市	まちなかのにぎわい創出	歩行者通行量（休日）	①
			中心市街地における創業事業所数（年間）	①
		交流人口の拡大	まちなか観光客数（年間）	①
平成28年6月17日認定				
茨城県	水戸市	まちなかのにぎわいを創出する	歩行者通行量	①
		まちなか居住を促進する	居住人口	①
		生活利便機能を再生する	空き店舗率	①
東京都	青梅市	街なか居住の促進	居住人口	③
		経済活力の向上	新規出店数	①
		回遊性の向上	観光案内所来所者数	①
東京都	府中市	経済活力の向上	大規模商業施設年間販売額	①
		回遊性の創出	東京競馬場タイアップ年間利用組数	①
		市民交流の増進	公共施設年間利用者数	①

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
平成28年11月29日認定				
島根県	雲南市	購買力流出の抑制	中心市街地の新規出店数	①
		定住人口の増加	中心市街地の人口	②
		交流人口の増加	中心市街地で実施するまめなカー市の年間入込客数	①
福井県	越前市	まちの顔づくり	市民交流施設の利用者数	①
		暮らしの再生	施策による移住者数	①
		にぎわいの再生	活性化に寄与する市民活動の回数	①
			施策によるまちなか開業件数	①
平成29年3月24日認定				
福島県	いわき市	生活環境の充実によるまちなか居住の促進	中心市街地内の居住人口	①
		新規出店の促進による事業活動の活性化	中心市街地内の新規出店数	①
		歴史・文化資源を活かした賑わいの創出	主要歴史・文化施設の入込客数	①
滋賀県	東近江市	暮らし続けたいと思えるまち	市全体に占める中心市街地内人口の割合	①
		歩いて楽しい回遊性の高いまち	歩行者・自転車通行量（平日）	①
			歩行者・自転車通行量（休日）	
		様々な世代が訪れたいと思える魅力ある店舗の集積するまち	八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数	①
福岡県	大牟田市	拠点への来訪者の拡大	交流施設等の年間利用者数	③
		空き店舗の解消	商店街の空き店舗数	③
		交流人口の拡大	歩行者通行量	③
		居住人口の拡大	中心市街地活性化エリアの居住人口	④
鹿児島県	奄美市	来る人を増やす”いもーれ”	主要9通りにおける営業店舗数	①
		観光客を中心市街地へ呼び込む“Comeもーれ”	中心市街地内の宿泊者数	①
		人が触れ合う“ゆてぃもーれ”	交流施設の利用者数	①
秋田県	秋田市	行きたい街	歩行者・自転車通行量	③
			芸術文化施設利用者数	①
		住みたい街	中心市街地における人口の社会増加数	①
		活力ある街	商業集積促進関連制度利用件数	①
			市民活動等施設利用件数	①
富山県	富山市	公共交通の強化と魅力ある都市空間の創出	路面電車（市内電車及び富山ﾗｲﾄﾚｰﾙ）一日平均乗車人数	①
		伝統と革新が融合した商業・賑わいの再生	中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量（日曜日）	①
		誰もが生き生きと暮らし活躍している選ばれるまち	中心市街地の居住人口の社会増加	①
			中心市街地の健康な高齢者の割合（前期高齢者）	①
			中心市街地の健康な高齢者の割合（後期高齢者）	
富山県	高岡市	交流人口の拡大	主要観光施設における観光客入込み数	①
			中心商店街・観光地周辺（6地点）における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	①
		まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実	中心市街地における居住人口の社会増減数	①
			中心市街地・観光地周辺における新規開業店舗数	①
石川県	金沢市	まちなかの定住者を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	②
			まちなか住宅支援制度の活用による県外からの移住者数	①
		幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る	商店街店舗の新規出店数	①
		公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	バス乗客者数	①
		歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設（14施設）の利用者数	①
			外国人入り込み客数	①
熊本県	熊本市	にぎわいあふれる城下町	熊本城公園（熊本城、城彩苑等）への入込数、及び桜町・花畑周辺地区で行われるイベント来場者数	①
		安心してずっと暮らしたいまち	中心市街地内の居住人口	①
		誰もが訪れてみたくなるまち	熊本市内の宿泊客数	①
平成29年6月23日認定				
大阪府	高槻市	来街機会の増加と回遊性の向上	歩行者・自転車通行量	①
			歴史・文化施設の年間利用者数	③
		経済活力の増進	中心市街地の新規出店数	③
平成29年11月28日認定				
山形県	上山市	また来たくなるまち	回遊ルートの歩行者通行量（平日＋休日）の平均	①
		活力あふれるまち	商店街の歩行者・自転車通行量（平日＋休日）の平均	①
			中心市街地内の新規出店数	①
		みんなで創る住みよいまち	市民活動等施設利用者数	①
			市全体人口に対する中心市街地人口割合	①
平成30年3月23日認定				
埼玉県	寄居町	集客と回遊性の向上	歩行者・自転車通行量（平日）	①
			歩行者・自転車通行量（休日）	①
		立ち寄り場所・機会の充実	新規出店事業者数	①
		住まい手・担い手づくり	居住人口の社会増減数	①
東京都	八王子市	歩きやすく、憩いやすいまち	歩行者通行量（平休日平均）	①
		新たな老舗を生み出すまち	新規出店数	③
		買い物をするのが楽しくなるまち	小売業年間商品販売額	③

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
佐賀県	基山町	にぎわいのある商業環境をつくる	4商店街の空き店舗率	①
		まちなかの居住人口を増やす	中心市街地の居住人口	①
		まちなかに人を惹きつける	イベント来場者及び施設利用者数	①
山形県	鶴岡市	居住の場、活動の場、交流の場としての中心市街地の再生	中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合	③
		中心市街地のにぎわいの創出	自転車歩行者通行量（休日・平日平均）	③
			空き店舗数	③
		まちなか観光の振興	主要観光施設入込客数	③
高知県	高知市	「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	①
		「多くの人が回遊するまち」の実現	歩行者通行量	①
		「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数	①
岐阜県	岐阜市	リノベーションを活用した新たな商業担い手の創出	創業数	①
		広域からも来訪したくなるような魅力の創出・発信による商業の振興	歩行者・自転車通行量	①
		都市機能誘導施設等の誘導、維持、利活用	都市機能誘導施設等（公共施設）の年間利用者数	①
		民間活用による居住空間の確保	居住人口の人口動態	①
静岡県	藤枝市	都市機能集積による生活利便性の向上	居住人口[社会増]	③
		個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上	空き店舗数	①
		街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上	昼間の歩行者通行量	③
		中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上	イベント来場者数	①
愛知県	豊田市	まちなかにぎわい創出	歩行者通行量（昼間9～17時）	①
			フリーパーキング対象駐車場の総利用時間	①
		公民連携による活性化	公共的空間の利用率	③
鳥取県	鳥取市	地域資源等を活かした交流人口の拡大	文化観光・交流施設年間利用者数（5施設）	①
		回遊・滞在による経済活力の向上	商業施設年間来店客数	②
			8商店街の事業所数	①
		若年層のまちなか暮らしの促進	中心市街地の45歳未満居住人口（社会増減数）	①
大分県	大分市	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化	空き店舗率	①
		魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上	中央町・府内町間を往来する歩行者通行量（土日計）	①
			中心市街地循環バス「大分きゃんばす」年間利用者数	①
		多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大	主要文化交流施設年間利用者数	①
鹿児島県	鹿児島市	商業・サービス機能の強化	空き店舗数	①
		稼ぐ観光の実現	宿泊観光客数	①
平成30年6月28日認定				
岐阜県	中津川市	商業の活性化による吸引力の強化	新規出店数	③
		観光客を惹きつける資源活用の強化	特定施設等観光客入込数	①
		市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化	都市福利施設利用者数	②
			歩行者通行量（平日・5地点計）	①
平成30年11月9日認定				
青森県	八戸市	街なかの賑わい創出（来街機会の創出と回遊性の向上）	歩行者通行量11地点（平日・休日の合計）	―
			公共施設来館者数	①
		起業者支援と魅力ある商店街・オフィス街づくり	空き店舗・空き地率	①
		街なかの居住推進と移動の利便性向上	中心市街地における人口の社会増減数	―